

希望あふれる春

市長 米本 弥一郎

桜の花びらが舞う中、8日の午前に市内小学校、午後には市内中学校の入学式が挙行されます。小・中学校、合わせておおよそ千人の新入生を迎えます。

黄色の帽子をかぶり、黄色の力バーを付けたランドセルを背負った児童と、乗り慣れない大人用自転車に乗った生徒が走り回ります。また、市内保育所、認定こども園、幼稚園にも、およそ380人が入所・入園されます。これまで以上に皆さまの見守り活動をお願い申し上げます。

本日、市役所では25人の職員が新たに入庁しました。私も人材育成に努めますが、皆さまからの厳しくも温かいご指導をお願い申し上げます。新入生、若人に幸多かれと願うばかりです。

さて、23日はいよいよ「生涯活躍のまち・みらいあさひ」のグランド

オープンです。みらいあさひは旭中央病院を核に介護・福祉まで担う、官民連携で進めていく事業です。多世代交流施設「おひさまテラス」や商業施設も開業します。

「おひさまテラス」は温かみや親しみやすさから名付けられました。クラフトルームやキッチン・ダンススタジオなど、子育て世代を中心に多世代が交流することで、賑わいを創出し、いつ行ってもワクワクできる施設であつてほしいと願っています。

さらに、24日には旭市サッカー場がプレオープンします。旧飯岡中跡地に国際基準の人工芝サッカーゴート1面、コート内に少年用2面とフットサル用4面を整備しました。地域の活性化や健康増進を目指し、タグラグビーや屋外ヨガなど、多目的なスポーツやレクリエーションにも活用いただけます。お楽しみに！

